

令和5年度 修徳ふれあい大運動会



修徳体育振興会 会長 山岸裕明
 10月15日(日)に4年ぶりに「修徳ふれあい大運動会」が開催されました。
 新型コロナウイルスに振り回されて中止が3回も続き、今年も理事会では開催すべきかどうか？色々な意見が出ておりました。
 他学区も縮小での開催や中止の所も有ったようですが、我々の結論はどうせやるなら、体調に注意しながらも例年通りに思いっきり元氣よく楽しくふれあい運動会らしく活気あるものにとしようと言いう結論に達しました。久しぶりと言いう事で不手際も多々有ったと思いい

是非、来年もまたおじいちゃん、おばあちゃんから幼児のお孫ちゃんまで元氣で参加してください。
 修徳学区の皆さん、本当にお疲れ様でした。



修徳

題字：伊藤博文

発行所
 修徳自治連合会
 PR・情報委員会
 修徳社会福祉協議会
 発行責任者 森 修 司
 編集責任者 中 島 慶 造
 印刷所 侑章美プリント

毎年、社会福祉法人下京区社会福祉協議会から助成金をいただき、広報紙作成の一助にいたしております。



☆修徳ホームページ☆
[修徳学区HP](#) [検索](#)

秋の修徳グラウンドゴルフ大会報告

修徳体育振興会 会長 山岸裕明
 11月23日(祝)に秋の修徳グラウンドゴルフ大会が開催されました。スタッフ含め約50人の参加で大いに盛り上がり楽しい一時と成りました。

◆表 彰◆

団体優勝	大江町Aチーム (吉田・中村・小野・山岸)
団体2位	材木町Aチーム (樋口・澤田・石田・高橋)
団体3位	混成チーム (向井・福井・大辻・平井)

個人優勝	中村 弘和 (成徳チーム)
個人2位	向井 範雄 (元両替町)
個人3位	石田 幹雄 (材木町)
B・B賞	石嵯 慎也 (材木町)

ホールインワン賞			
加藤 毅	熊谷 優希	吉田 武弘	小野 徹
樋口 清士	向井 範雄	松居 秀幸	渡辺 由樹子
井上 涼子	村田 宏雄	中村 弘和	



団体優勝 大江町Aチーム



Bチームの女性も頑張っていたいただきました。皆様疲れ様でした。

修徳体育振興会 会長 山岸裕明
 10月29日に下京学区民グラウンドゴルフ大会が開催されました。
 修徳Aチーム(石田・樋口・澤田・大辻)が33チーム中4位入賞の好成績。

下京区グラウンドゴルフ大会

奈良へ着いた頃からポツポツと嫌な雨が降り出しましたが、先ずは春日大社に2礼、2拍手、1



修和会

晩秋の奈良日帰り旅行に参加して

11月13日(月) 暑かった秋が急に冬になり薄曇りの天気の中、奈良日帰り旅行に室町五条から32名の参加でバスの旅に出発しました。バスの中で向井さん(元両替町)アイデアのビンゴゲームで楽しませて頂き、ゲームの当たり順に景品(菌磨き粉、鍋敷き、卓上クリスマスツリー等々)をワクワクしながら包装を開き笑顔のひと時を過ごしました。

奈良へ着いた頃からポツポツと嫌な雨が降り出しましたが、先ずは春日大社に2礼、2拍手、1

修和会 西部会計監査 大八木ともみ
 礼でお参り。雨は止むことなく今度は東大寺大仏殿、皆さん1度や2度は来られているようで口々に久しぶりやね、何年前来たんやろと。大きな大仏さんを見上げて皆さん、喜んだり感心したりしていました。そしてバスの駐車場から大仏殿迄凄く歩いたのでお腹もペコペコ。奈良ロイヤルホテルでの昼食では、テーブルごとに話も弾み、美味しく頂きました。午後からは「ならまち」散策、

テレビでよく見る高速餅つき(中谷堂)の草もちを並んで買う人、商店街をブラブラする人、喫茶店で体む人などそれぞれ楽しく過ごしました。



お詫びと訂正
 令和5年11月1日発行修徳新聞104号掲載の修和会「金婚の佳節を表彰」の記事に於きまして掲載のお名前前の漢字に誤りがございました。正しくは宮川達勇・幸子、夫婦(大江町)となります。謹んでお詫び申し上げます。

社会福祉法人 京都福祉サービス協会

総合福祉施設 修徳

京都市下京区新町通松原下る富永町110-1

- * 特別養護老人ホーム ☎ 351-2181
- * ショートステイ ☎ 351-2139
- * デイサービスセンター ☎ 351-2191
- * 地域包括支援センター ☎ 351-2153
- * 居宅介護支援事業所(ケアプランセンター) ☎ 351-2152
- * 児童館 ☎ 353-6399



令和5年度

修徳学区総合防災訓練報告

修徳学区自主防災会 会長 佐野 弘明

11月19日(日)に修徳公園に於いて修徳学区総合防災訓練が行われました。

各町内より200名の参加を頂き有意義な訓練が出来たことをありがたく思います。

コロナウイルス感染症の為4年ぶりの開催となりましたが、下京消防署、修徳消防分団、自治連合会、防災会のご協力により無事終えることが出来ました。

4年ぶりの開催のため基本の訓練を思い出して



もらいたく、起震車、AED、消火器、救出訓練を体験して頂きました。不手際もあつたと思いますが、学区民の防災意識及び災害発生時における対応能力のお役にたてればと思います。



年の瀬の12月2日(土)修和会、女性会合同の講演会がせんだんホールで開催されました。

演題は「源氏物語 紫式部と地域の歴史」講演して下さった先生は、同志社女子大学名誉教授 臈谷 寿(オボロヤヒサシ)様。

まず、最初に修和会樋口会長よりご挨拶があり、いよいよ臈谷先生の講義が始まりました。紫式部の生い立ちから成人になるまでの過程、父である藤原為時とのかかわり、その時代の女性の地位と立場などユーモアたっぷりのお話は楽しく、その時代を連想しながら雅(みやび)の世界を垣間見る事が出来ました。二時間余りの講義でしたが出席された皆様方はとても熱心に先生のお話を聞いておられました。年末のお忙しい時期にもかかわらず60名余りの方々にご出席頂きありがとうございました。

最後に女性会小畑会長の閉会のご挨拶を頂き本日の講演会を終了致しました。ご出席下さった方並びに準備等にお手伝い下さった方々、皆様本当にありがとうございました。



女性会 副会長 中村 秀子

修和会・女性会合同講演会に参加して

『京都の伝統芸能「狂言」を知ろう!』



下京少年補導委員会 修徳支部 越智 信喜(文・写真)

12月10日、修徳せんだんホールにおいて狂言の公演イベントを開催いたしました。

京都の三大狂言のひとつ、千本多んま堂狂言保存会の協力を得て、「二人大名(ににんだいみょう)」「でんでん虫」の二演目が演じられました。それ以外に、鉦太鼓(かねたいこ)及び面付け(めんつけ)体験を行いました。

修徳せんだんホールには、子供たちからお年寄りまで172名の入場者で、ホールいっぱい埋

まりました。イベントの最初に千藤支部長の挨拶があり、次に保存会より狂言の解説がありました。

その後、公演が始まり、舞台上に立った演者を見たホールを観客全員が、興味深そうに一瞬静まりました。しかし、すぐに笑い声がホールに響きました。

京都の狂言と言えば、壬生狂言の「ガンデンデ」の鉦太鼓の音のみと思われがちですが、千本多んま堂狂言には、セリフがあります。登場人物が何者かもセリフで分か

り、こつけない場面仕事も所々にある事で、演劇に引き込まれ、多くの笑い声が出るのです。

また鉦太鼓の体験では、来場者の子供たちが参加しました。保存会の方から優しく教えてもらい鉦太鼓を鳴らしました。そして狂言で使われている面を付ける体験もしました。

あつという間の2時間半、笑って楽しく京都の伝統芸能「狂言」を知ってもらえたと感じました。



人事往来

(敬称略)

表彰関係

おめでとうございます

令和5年10月24日

近畿更生保護女性連盟

会長表彰

谷口よし子(富永)

令和5年12月5日

老人福祉員八年表彰

藤間 榮子(大堀)

転入

よろしく

敷下町町内会では新築分譲マンションへの入居がはじまりました。最大18戸の新規会員となりますがどうなりますでしょうか。(敷下)

訂正

お詫びします

令和5年11月1日発行修徳新聞104号掲載の記事に於きまして掲載のお名前の漢字に誤りがございました。

正しくは

山本 剛史・祥子さん

大誠 君(二歳)(深草)

令和4年2月

となります。

